

for Windows 98/Me/2000/XP/Vista/7

点字印刷ソフト

「B プrint」 使用説明書

この度は「B プrint」をご利用いただきまして誠にありがとうございます。
このソフトはフリーウェアです。ご自由にご利用ください。

このソフトは、各種 Windows の環境から点字プリンタに出力する、印刷専用ソフトで、出力できるファイルは、次の形式のものです。

- *.BSE B A S E、T E データ、ういんぴーなど
- *.BES Win-BES 99、点字編集システム
但し、図形は「点」で描かれたもののみ出力可能
- *.NAB コータケン
- *.EDL 図形点訳ソフト「エーデル」

出力先は、Windows のプリンタ出力先として指定できる場所は全て可能です。

- ・ローカルのシリアル・ポート (RS232C)
(USB - シリアル変換ケーブルが利用できます。)
パラレル・ポート (セントロニクス)
(USB - パラレル変換ケーブルは利用できません。)
- ・ネットワークに接続されたプリンタ

利用できる点字プリンタは、次のものです。

- ・T E N - 1 0 0、T E N - 1 0 (有) レンテック
- ・New E S A 7 2 1、E S A 7 2 1 (株) ジェイ・ティー・アール
- ・N A B C C (北米点字コード) 対応機

目次

1. インストール
 - 1-1 B プrint
 - 1-2 プリンタの追加
 - 1-2-1 周辺機器ドライバ
 - 1-2-2 プリンタの追加
 - 1-2-3 プリンタの設定
2. 使用方法
 - 2- 1 起動
 - 2- 2 点字プリンタ
 - 2- 3 ファイル
 - 2- 4 図形出力
 - 2- 5 改頁出力
 - 2- 6 範囲
 - 2- 7 部数
 - 2- 8 印刷
 - 2- 9 終了
 - 2-10 ショートカットキー
3. 使用上のご注意
 - 3-1 ファイルの選択
 - 3-2 スプール
 - 3-3 点字プリンタの接続

有限会社 レンテック

Copyright (C) 2006 - 2011 LENTEK Corporation

1. インストール

「B プリント」を使用するには、「B プリント」本体のインストールとプリンタの追加をする必要がありますが、この作業は、どちらを先にされても構いません。

尚、説明は Windows XP でしておりますが、他の Windows でも、表現が多少変わるだけで、内容はほぼ同じです。

1-1 Bプリント



入手された BprintXXX.exe (XXX はバージョン番号) を実行してください。
「スタート」－「ファイル名を指定して実行」で「OK」ボタンを押すか、
または、エクスプローラで BprintXXX.exe をダブルクリックします。
標準設定では (C :)¥ProgramFiles¥LENTEK¥BPrint¥に
BPrint.exe が インストールされ、デスクトップに「B プリント」の
アイコンが作成されます。

* アンインストールするには、「スタート」－「すべてのプログラム」－
「B プリント」－「B プリントのアンインストール」または「コントロールパネル」－
「アプリケーションの追加と削除」から「B プリント」を選んで削除を実行してください。

1-2 プリンタの追加

1-2-1 周辺機器ドライバ

点字プリンタをパソコン本体のシリアル・ポート (COM1, COM2) やパラレル・ポート
(セントロニクス) (LPT) に、直接に接続される場合は必要ありませんので、
次の項目 (1-2-2 プリンタの追加) に進んでください。

USB ポートに、USB－シリアル変換ケーブルを使われる場合は、
それをパソコンに接続してください。
新しいハードウェアが検出され、プリンタドライバのインストールが始まりますので、
変換ケーブルの説明書に従ってドライバをインストールしてください。
インストール後は、「マイ コンピュータ」－「システム」－「デバイスマネージャ」で、
「ポート (COM と LPT)」または「USB コントローラ」の中に接続した機器が表示される
ことを確認してください。

- ・「ポート (COM と LPT)」では、USB-SERIAL CONVERTER (COM?) など
- ・「USB コントローラ」では、USB 印刷サポート など

L A N に接続して、プリントサーバを利用される場合は、機器を接続して
必要なドライバをインストールしてください。

詳しくは、それぞれの機器の取扱説明書に従ってください。



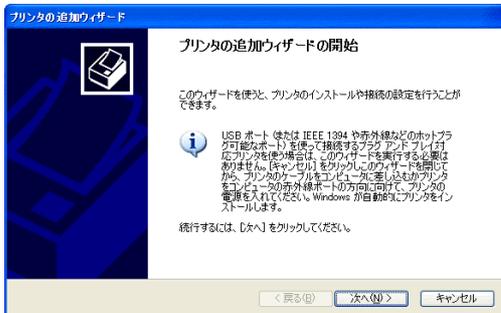
U S B－シリアル変換ケーブル
エレコム U C－S G T

上図のものは弊社で動作確認済みの変換ケーブルですが、
全ての環境で動作を保証するものではありません。
お求めの際には、ご使用の Windows に対応しているかお確かめください。

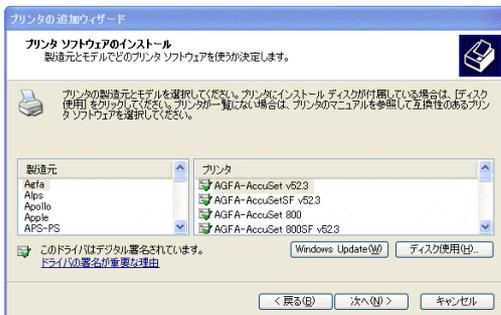
1-2-2 プリンタの追加

「プリンタ追加のウィザード」でプリンタを一つ追加します。
「コントロールパネル」—「プリンタとFAX」で「プリンタのインストール」を開始します。

前述のUSBやネットワークに接続する場合で、まだ準備ができていない時でも、
接続先は後で変更可能ですので、まずは適当なものを選んで進めてください。



「プリンタの追加ウィザード」を
全て設定は変えずに、そのまま「次へ」を
押して進みます。



途中で、プリンタの機種を指定する
ところがありますが、どのプリンタでも
構いません。適当なものを選んでください。

プリンタドライバも Windows 標準のもの
を使用します。

印字テストはしないで完了してください。



「プリンタの追加ウィザード」を完了すると
「プリンタとFAX」に新しいプリンタが
追加されています。
プリンタ名は、上で選んだ適当なものに
なっています。*

これをマウスの左ボタンで選び、マウスの
右ボタンをクリックして、「プロパティ」を
選び、次の「プリンタの設定」に進みます。

* 次の「1-2-3 プリンタの設定」の項の最初でプリンタ名を変えますが、
上記の「名前の変更」を選んで変更することと同じです。
Windows のバージョンによっては、ここで変更してください。

1-2-3 プリンタの設定

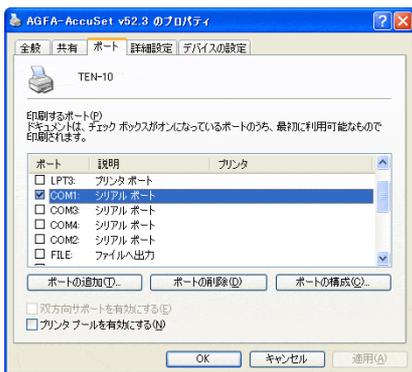
「コントロールパネル」－「プリンタとFAX」で先ほど追加したプリンタをマウスの左ボタンで選び、マウスの右ボタンをクリックして「プロパティ」を開きます。



まず、「全般」タブを選び、プリンタの名前を「機種名」や「点字プリンタ」などに変えます。

「B プリント」は、このプリンタ名の中に「TEN-100」、「TEN-10」、「New ESA721」、「ESA721」という単語があると専用の制御コードを出力しますので、これらの機種では必ず名前に含ませてください。

* ESA721 は、Newの有無で図形印刷の可否が変わりますのでご注意ください。



その他の点字プリンタでは、名前の中に**全角文字**で「片面」または「両面」という文字を必ず含ませてください。

この文字が無いと「Bプリント」は、点字プリンタとして認識しません。尚、両面機でも片面モードにしているときは、「片面」という文字を含む名前にしてください。

例.”機種名＋片面（または両面）”

次に、「ポート」タブを選び、点字プリンタの接続先を選びます。USB－シリアル変換ケーブルを利用する場合は、直接ハードウェアが表示されないので、COMの何番かがすぐに判りません。

その場合は、デバイスマネージャの「ポート(COMとLPT)」で確認してください。



点字プリンタの接続先をCOM? (シリアル)にした場合は、「ポートの構成」ボタンを押して、通信速度などを設定します。

(LPT (パラレル) の場合は不要です。)

「TEN-100」、「TEN-10」の場合は、次のように設定します。

- ・ビット/秒 9600
- ・データビット 8
- ・パリティ なし
- ・ストップビット 1
- ・フロー制御 Xon/Xoff

他の機種でもプリンタに合わせた設定にしてください。



次に、詳細設定タブを選び、設定が次のようになっていることを確認します。

- ・常に利用可能。
- ・印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う。
- ・すぐに印刷データをプリンタに送る。
- ・スプールされたドキュメントを最初に印刷する。



全ての設定が終わりましたら、「適用」ボタンを押し、「OK」ボタンでプリンタのプロパティを閉じます。

「プリンタとFAX」でプリンタが新しい名前になっていることを確認します。

2. 使用方法

2-1 起動



デスクトップ上の「B プリント」のアイコンをダブルクリックします。



2-2 点字プリンタ

「B プリント」を起動すると、コントロールパネルの「プリンタと FAX」の中から、「TEN-100」、「TEN-10」、「ESA721」、「NewESA721」または「片面」、「両面」を含むプリンタ名を探し、プリンタ名のコンボボックスのリストに自動的に加えますので、印刷に使用する点字プリンタをその中から選択します。尚、B プリントを終了するときを選択したプリンタ名と改頁の状態は保存され、次の起動時には同じものが選択されます。

2-3 ファイル

印刷ファイル名は、ファイル名欄に直接キーボードから入力できません。「ファイル参照」ボタンを押し、ファイル選択ダイアログのファイル名欄に入力するか、リストからファイルを選びます。

「TEN-100」、「TEN-10」、「NewESA721」以外の点字プリンタでは、図形点訳ソフト「エーデル」(*.EDL)と WinBES 99 または 点字編集システム(*.BES) の図形データは印刷されません。

また、点字プリンタが「TEN-100」、「TEN-10」または「NewESA721」でも、WinBES 99(*.BES)の図形データは、「点」で描かれたものしか印刷されません。

2-4 図形出力

点字プリンタが「TEN-100」、「TEN-10」または「New ESA721」で、ファイルに図形データを含む場合は、図形出力のチェックボックスにチェックが入ります。

「エーデル」(*.EDL)のデータの場合は、「図形のみ」のデータですので薄い表示となり変更できなくなります。

WinBES 99(*.BES)のファイルで図形データを含む場合は、チェックボックスの変更が可能な表示になり、このチェックを外しますと図形データは出力されません。

2-5 改頁出力

点字プリンタ名に「片面」、「両面」を含む機種の場合は、チェックボックスにチェックを入れると、各頁データの間に改頁信号が出力されます。プリンタに合わせてお選びください。

点字プリンタが「TEN-100」、「TEN-10」、「New ESA721」、「ESA721」の場合には、常にチェックが入り、薄い表示となり、変更できません。

2-6 印刷範囲

ファイルを選んだ時には、印刷の開始頁は1頁、終了頁はファイルの最終頁が表示されます。必要に応じて、印刷範囲の頁数を半角数字で指定してください。

印刷面の選択は、片面機、両面機および一頁の行数により変わります。片面機の場合は、通常は「全頁(片面)」のみの表示と選択がされていますが、ファイルのデータが18行/頁の場合は「全頁(片面)」、「表面(奇数頁)」、「裏面(偶数頁)」の3つの表示になり、ラジオボタンでいずれかを選択できます。この表面(奇数頁)、裏面(偶数頁)の意味は、ファイルの始まりから数えて奇数番目の頁か偶数番目の頁かという意味です。

両面機の場合は、通常は「全頁(片面)」のみの表示ですが、ファイルのデータが18行/頁の場合は、「全頁(片面)」と「全頁(両面)」の2つの表示になり、最初は「全頁(両面)」の両面印刷が選択されます。「全頁(片面)」は、18行/頁の場合のみ、各頁の間に空白頁を挿入して、表面だけの片面印刷となります。尚、両面機で「全頁(両面)」の場合、開始頁が表面に、その次の頁が裏面になり、その後は表面、裏面を繰り返す両面印刷になります。また、両面印刷で、印刷範囲が奇数の頁数の場合は、最後に空白頁が挿入されて偶数頁分のデータが出力されますので、印刷部数を複数に指定しても、最終頁の裏面に次の部の最初の頁が印刷されることはありません。

ファイルのデータが18行/頁、22行/頁、24行/頁、35行/頁で、点字プリンタが「TEN-100」、「TEN-10」、「New ESA721」、「ESA721」の場合は、各頁のデータの前で専用の行間制御コードを出力し、自動的に用紙の中に収まるようになりますが、その他の行数やその他の点字プリンタでは、そのような信号は出力されませんので、手動で印刷モードを切り換えるなどして対応してください。尚、24行/頁に対応した用紙サイズは、「TEN-100」は8×10インチ、「ESA721」は10×11インチです。

2-7 部数

印刷は部単位で印刷されます。1～999部の範囲を半角数字で指定してください。

2-8 印刷

印刷範囲、印刷部数を確認して「印刷」ボタンを押します。出力状況を表すプログレスダイアログが現れてデータ出力を開始します。

データ出力中にプログレスダイアログの「キャンセル」ボタンを押すと、データ出力を中止できますが、文章では行単位、図形では頁単位で中止されます。

2-9 終了

終了するには、「閉じる」ボタンを押すか、「ESC」キーを押します。

2-10 ショートカットキー

下記のショートカットキーで、マウスを使用しなくても操作できます。画面の括弧で囲まれた文字のキーがショートカットキーになっております。

ショートカットキーを使用するときには、クリップボードにも音声データが出力されております。

PC-Talker や 95Reader などの音声ソフトを使用する場合は、「クリップボードを読み上げる」ように設定にしてください。

以下の記述で、例えば Alt + 1 と記しているのは、Alt キーと数字の 1 キーを同時に押す操作です。

- ・ Alt + 1 選択されている「点字プリンタ名」と「接続場所」を読み上げます。
- ・ Alt + 2 プリンタ選択コンボボックスにフォーカスを移動します。
- ・ Alt + 3 選択されている「印刷ファイル名」と「1行のマス数」、「1頁の行数」、「ファイルの全頁数」、「図形データの有無」を読み上げます。
- ・ Alt + 4 ファイル選択ダイアログを起動します。
- ・ Alt + 5 設定されている印刷範囲の「印刷開始頁」、「印刷終了頁」、「印刷面」を読み上げます。
- ・ Alt + 6 カーソルが印刷開始頁の欄に移動して入力編集が可能になり、現在の「印刷開始頁」を読み上げます。
- ・ Alt + 7 カーソルが印刷終了頁の欄に移動して入力編集が可能になり、現在の「印刷終了頁」を読み上げます。
- ・ Alt + 8 カーソルが印刷部数の欄に移動して入力編集が可能になり、現在の「印刷部数」を読み上げます。
- ・ Alt + 9 「図形出力」と「改頁出力」のチェック状況を読み上げます。

- ・ Alt + Z 「図形出力」のチェックの有無を反転します。
- ・ Alt + K 「改頁出力」のチェックの有無を反転します。
- ・ Alt + S 印刷面を「全頁（片面）」に設定します。
- ・ Alt + W 印刷面を「全頁（両面）」に設定します。
- ・ Alt + O 印刷面を「表面（奇数頁）」に設定します。
- ・ Alt + U 印刷面を「裏面（偶数頁）」に設定します。
- ・ Alt + V バージョン情報のダイアログを起動します。
- ・ Alt + P 印刷を開始します。
- ・ Alt + Q 「B プリント」を終了します。

3 使用上のご注意

3-1 ファイルの選択

「B プリント」では、印刷ファイルを選択し、ファイルの枠内にファイル名が表示された時には、すでにファイルは読み込まれております。
「B プリント」と点訳ソフトを同時に使用されていて、点訳ソフトで編集したものを印刷する場合には、たとえ同じファイル名でも、先ず、点訳ソフト側で保存し、それを「B プリント」で再び読み込むようにしてください。
このようにしないと、点訳ソフトの表示と同じものが印刷されません。

3-2 スプール

従来の点訳ソフトは、プリンタドライバを使用しないで、パラレル・ポート（セントロニクス）やシリアル・ポート（RS232C）に直接に出力しております。

この「B プリント」は、墨字プリンタと同様に、プリンタドライバを使用し、スプールを介して出力します。

スプールは、プリンタに出力する時にデータを直接プリンタに出力するのではなく、一時的に別の場所に貯めておいて、後でまとめてプリンタに出力する仕組みです。

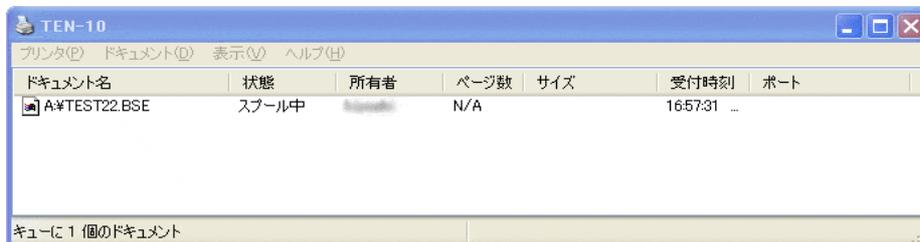
そのため、「印刷」ボタンを押して、出力状況を示すプログレスダイアログが現れても、すぐには点字プリンタに出力されていない場合がありますし、プログレスダイアログが消えても、出力が完了していない場合もあります。

すぐに印刷が始まらないからと、「印刷」ボタンを押すと次々とスプールにデータが貯まってしまいます。

「印刷」ボタンを押した時に、点字プリンタが接続されていないとか、電源が入っていないなどの場合は、スプールにデータが貯まっておりますので、注意が必要です。

尚、スプールに貯まったデータの状況を見るには、「コントロールパネル」－「プリンタとFAX」で出力する点字プリンタをマウスの左ボタンでダブルクリックすると表示されます。

操作手順を間違えた場合は、このウィンドウのメニューバーの「プリンタ」を開き、「すべてのドキュメントの取り消し」を選び、スプール内のデータをすべて消して、改めて印刷してください。



3-3 点字プリンタの接続

セントロニクスの信号は、データの送信速度が決まっていないため、点字プリンタは高速データを正しく受け取れない場合が多くあります。

「B プリント」は、プリンタを選択して接続場所にLPTと表示され、出力先がセントロニクスの場合は送信速度を遅くするようにして、できるだけ点字プリンタが正しくデータを受け取れるようにしております。しかし、接続に当たってはできるだけ、データの送信速度が決まっているRS232Cを使用するのが確実です。

LANに接続された点字プリンタに出力する場合は、プリントサーバを使用しますが、多くのプリントサーバの出力はセントロニクスとなっております。この場合は、送信速度はプリントサーバによりますので、プリントサーバと点字プリンタの間に、セントロニクスをRS232Cに変換するアダプタを使用する方がデータエラーが出ずに確実です。

* お断り

本ソフトウェアは、全ての環境で動作を保証するものではありませんことをご承知ください。

〒194-0023 東京都町田市旭町3丁目14-3
有限会社 レンテック
<http://www.lentek.co.jp/>